

# 気化ハイブリッド加湿器

HVH-700R1 / HVH-500R1

EA763AY-13C

## 取扱説明書



※ イラストはHVH-500R1です。

この商品は海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

### 保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

## もくじ

### ご使用の前に

安全上の注意 .....	2
使用上の注意 .....	5
各部の名称 .....	6

### 取り扱いかた

準備 .....	9
使いかた .....	10
お手入れ .....	12
消耗品について .....	15

### こんなときには

故障かな?と思ったら .....	16
仕様 .....	18
保証とアフターサービス .....	19
保証書 .....	裏表紙

# 安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

## 図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

### 電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り除く  
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む  
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない  
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 交流100V以外では使わない  
火災・感電の原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

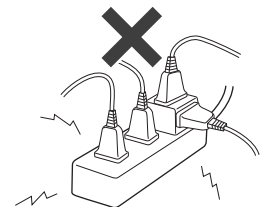
- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、はさみ込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない

火災の原因になります。

- 乳幼児に電源プラグをなめさせない  
けがや感電の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない  
引火して火災の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く  
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない
- 水につけたり、水をかけたりしない  
火災・感電の原因になります。



- 屋外で使用しない  
故障して火災の原因になります。
- 子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせない
- 乳幼児に触れさせない  
けがや感電の原因になります。

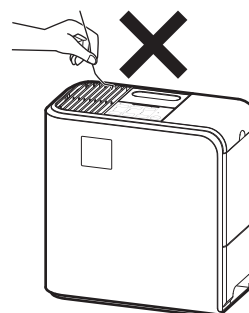


分解禁止

- 分解・修理・改造をしない  
火災・感電・けが・やけどの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。  
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 吹き出し口・吸気口などのすき間にも手を入れない  
感電やけがの原因になります。



## 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

### 水タンクの水について



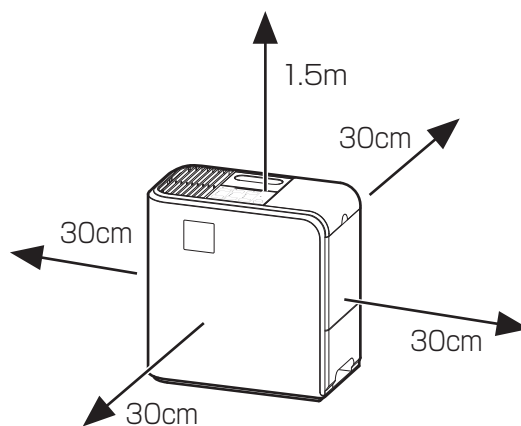
- 毎日新しいものに取り替える  
水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発生したり、空気を汚染して疾病の原因になります。
- 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンク及び本体内の水を捨てる  
水が入ったまま放置すると、異臭を発生したり、空気を汚染して疾病の原因になります。
- 凍結しそうなときは、水タンク及び本体内の水を捨てる  
凍結すると、故障・水もれにより、周囲の汚損の原因になります。



- 水道水以外は使用しない  
40℃以上のお湯・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。  
かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などを起こして、水もれや周囲の汚損の原因になります。
- 残った水を料理や飲み水に使用しない  
健康を害する原因になります。



- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を離す  
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。



- 加湿された風が、テレビなど電気製品に直接当たるところに設置しない  
電気製品に結露すると、電気製品の故障の原因になります。
- 暖房器具・テレビ・ホットカーペットなどの上で使用しない  
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。

# 安全上の注意 つづき



- 水平で安定した床の上で使用する  
毛足の長いカーペットや布団の上などで使用すると、転倒してけがをしたり水もれしたりするおそれがあります。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 可燃性のものや、火のついたたばこ・線香などを近づけない  
火災の原因になります。



- 水タンクやトレイを正しく取り付ける  
水もれや周囲の汚損の原因になります。  
お手入れしたときも、各部品を正しく取り付けてください。



- 加湿器の上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない  
転倒によるけがや火災の原因になります。

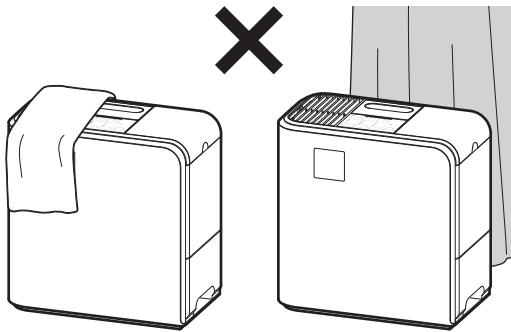


- 吹き出し口や吸気口をふさがない  
水もれや過熱の原因になります。



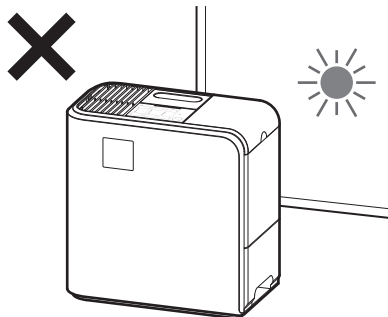
プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

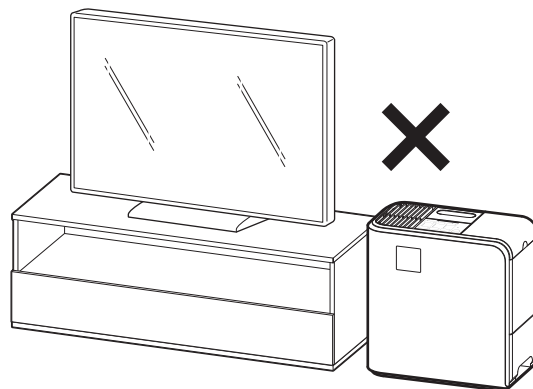


# 使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。  
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を正しく検知できずに誤動作することがあります。



- ラジオやテレビに近づけないでください。  
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- ベンジンやシンナーで拭いたりしないでください。  
破損・故障の原因になります。

- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など、磁気の出る機器の近くで使用しないでください。  
誤動作することがあります。

## 使用環境について

- 室温は5～35℃で使用してください。  
室温が低いと、床ぬれや結露が起りやすくなります。

- 水平で安定した床の上で使用してください。  
転倒時安全装置が働いて電源が切れたり、給水が不十分になり加湿できなくなったりします。

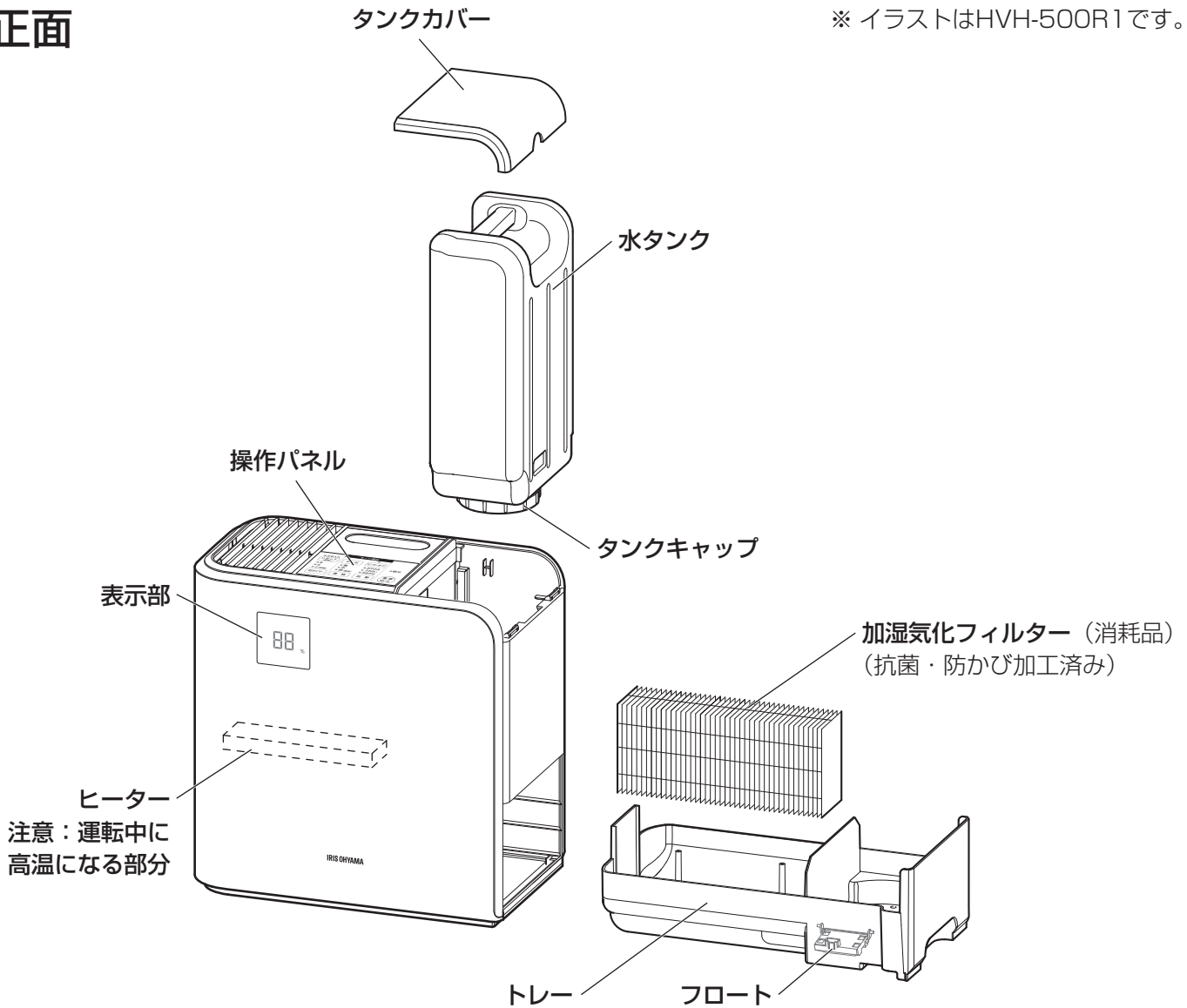
## 廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

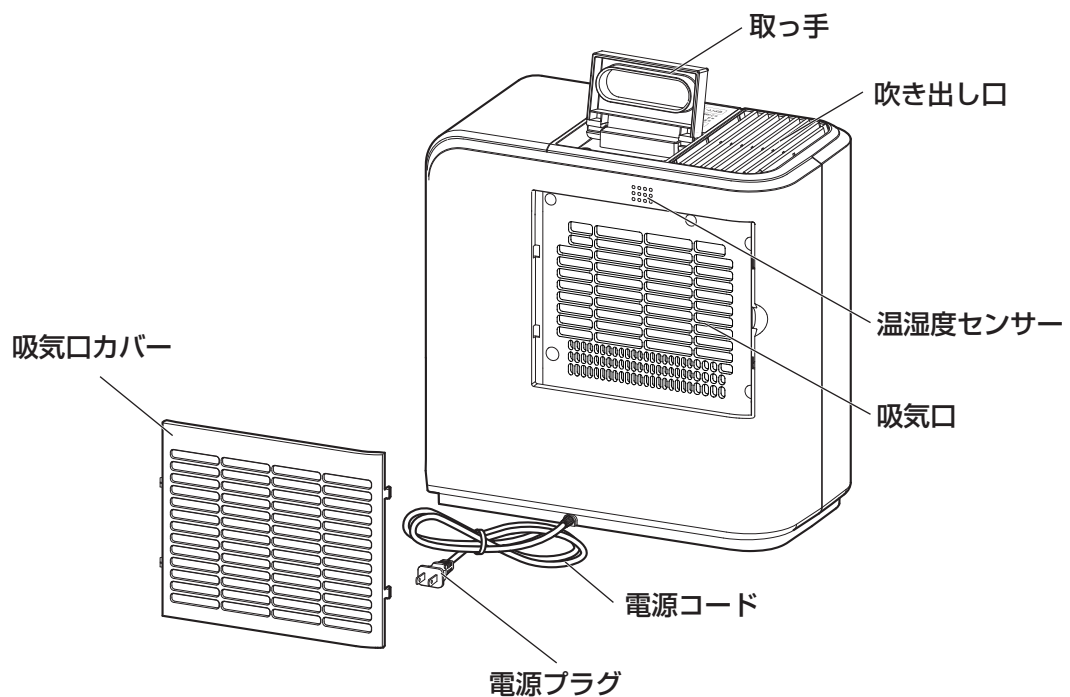
# 各部の名称

## ■ 正面

※ イラストはHVH-500R1です。



## ■ 背面



# ■操作パネル HVH-700R1

## お手入れランプ

### リセットボタン

お手入れの時期が来るとランプが点滅してお知らせします。

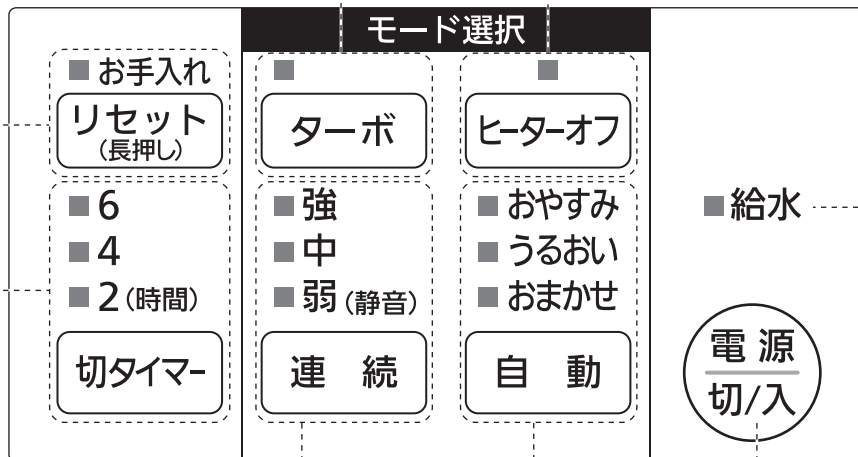
お手入れを済ませた後は、**リセット**ボタンを長押ししてランプを消灯してください。(→P13、15)

## ヒーターオフボタン・ランプ

ボタンを押すと、ヒーターによる加熱を停止し、自然気化式で加湿を行います。もう一度押すと、ヒーター加熱を併用したハイブリッド加湿になります。(弱(静音)を除く)(→P10)

## ターボボタン・ランプ

ボタンを押すとターボモードで運転します。(→P10)



## 連続ボタン・ランプ

連続ボタンを押すたびに、運転モードが次のように切り替わり、連続運転します。(→P10)

弱 (静音) → 中 → 強

運転中に、連続ボタンを長押しすると、操作パネルのランプを減光し、表示部を消灯させることができます。(→P11)

## 電源ボタン

ボタンを押すと、運転開始します。再度ボタンを押すと、運転を停止します。(→P10、11)

## 切タイマーボタン・ランプ

ボタンを押すたびに、次のように時間が切り替わり、切タイマーがスタートします。(→P11)

2 (時間) → 4 → 6  
消灯 (タイマー解除)

## 自動ボタン・ランプ

自動運転は、自動ボタンを押すたびに、運転モードが次のように切り替わります。(→P10)

おまかせ → うるおい → おやすみ

## 給水ランプ

水タンクが空になるとアラームが鳴り、点滅します。(→P11)

# 各部の名称 つづき

## ■操作パネル HVH-500R1

### お手入れランプ

#### リセットボタン

お手入れの時期が来るとランプが点滅してお知らせします。

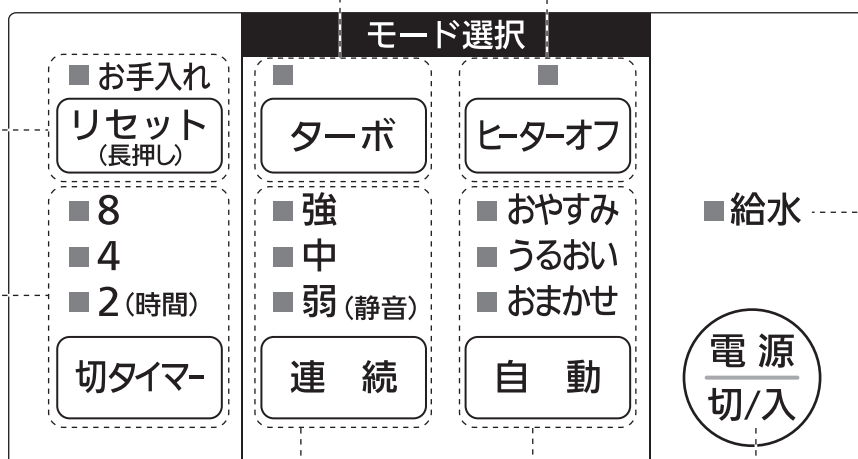
お手入れを済ませた後は、**リセット**ボタンを長押ししてランプを消灯してください。(→P13、15)

### ヒーターオフボタン・ランプ

ボタンを押すと、ヒーターによる加熱を停止し、自然気化式で加湿を行います。もう一度押すと、ヒーター加熱を併用したハイブリッド加湿になります。(弱(静音)を除く)(→P10)

### ターボボタン・ランプ

ボタンを押すとターボモードで運転します。(→P10)



### 連続ボタン・ランプ

連続ボタンを押すたびに、運転モードが次のように切り替わり、連続運転します。(→P10)

弱 (静音) → 中 → 強

運転中に、連続ボタンを長押しすると、操作パネルのランプを減光し、表示部を消灯させることができます。(→P11)

### 電源ボタン

ボタンを押すと、運転開始します。再度ボタンを押すと、運転を停止します。(→P10、11)

### 切タイマーボタン・ランプ

ボタンを押すたびに、次のように時間が切り替わり、切タイマーがスタートします。(→P11)

2 (時間) → 4 → 8  
消灯 (タイマー解除)

### 自動ボタン・ランプ

自動運転は、自動ボタンを押すたびに、運転モードが次のように切り替わります。(→P10)

おまかせ → うるおい → おやすみ

### 給水ランプ

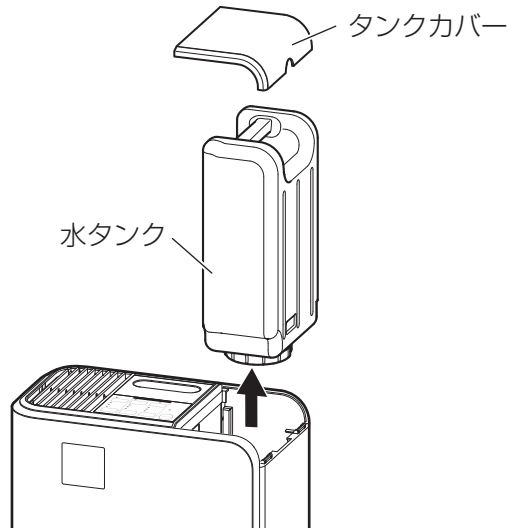
水タンクが空になるとアラームが鳴り、点滅します。(→P11)



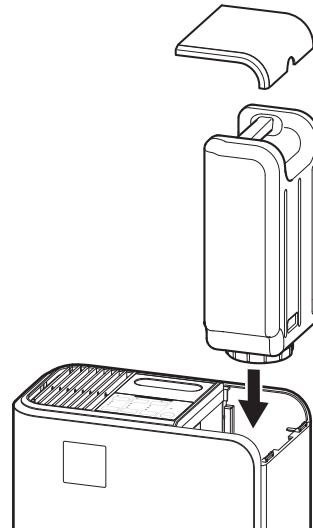
# 準備

## ■水タンクに給水する

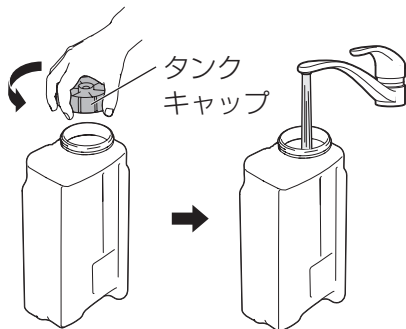
**1** タンクカバーを開け、水タンクを取り出す



**3** タンクキャップをしっかりと閉め、水タンクを本体にセットする



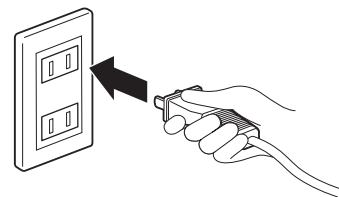
**2** タンクキャップを外し、水道水を水タンクに入れる



**注意**

- タンクキャップは確実に締めてください。タンクキャップが斜めになっていたり、ゆるんでいたりとすると、水が水タンクからこぼれて、本体の故障や水もれの原因になります。
- 水タンクをセットする時は、上から落としたりせず、ゆっくりとセットしてください。破損の原因になります。

## ■電源プラグをコンセントに差し込む



**注意**

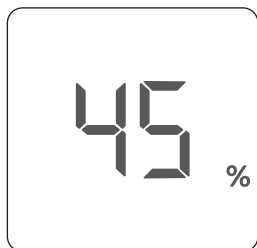
- 水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯・ミネラルウォーター・井戸水などは入れないでください。
- 水に薬品・香料・精油・洗剤などを入れないでください。健康を害したりするおそれがあります。

# 使いかた

## 1 電源切/入ボタンを押す



- 電源切/入ボタンを押すと、前と同じ動作（運転モード）で加湿を開始します。ただし、初めて使用するときや、電源コードを抜き差ししたときは、初期運転としておまかせモードで加湿が開始されます。
- 部屋の湿度測定をして、表示部に現在の湿度を表示します。（現在の湿度は目安として使用してください。）



## 2 運転モードを選ぶ

### 自動運転

- 自動ボタンを押すたびに、運転モードが次のように切り替わります。



→ おまかせ → うるおい → おやすみ

#### おまかせ

目標湿度を約60%に設定して、自動運転します。

#### うるおい

目標湿度を約65%に設定して、自動運転します。

#### おやすみ

目標湿度を約60%に設定し、風量「弱」で自動運転します。

おやすみモードのときは、操作部のランプは減光し、表示部は消灯します。また、給水ランプが点滅しても、ブザーは鳴りません。

### 連続

- 連続ボタンを押すたびに、運転モードが次のように切り替わります。



— 弱（静音） → 中 → 強 —

#### 弱（静音）

風量「弱」で、運転音を押さえて、連続加湿を行います。ヒーターによる加熱も停止します。おやすみのときなど、より静かに使用できます。

#### 中

風量「中」で、連続加湿を行います。

#### 強

風量「強」で、連続加湿を行います。

### ターボ

- ターボボタンを押すと、ターボランプが点灯して、ターボモードで運転します。

点灯



## ■ ヒーターオフモード

- ヒーターオフボタンを押すと、ランプが点灯して、ヒーターによる加熱を停止し、電力消費量を抑えて、自然気化式で加湿を行います。（ヒーターオフモードでは、加湿量は減少します。）

点灯



- 再度ヒーターオフボタンを押すと、ヒーター加熱を併用したハイブリッド加湿になります。
- ※ 弱（静音）モードでは、ヒーターのオン・オフはできません。

## ■ 運転を停止するには

### 電源 切/入ボタンを押す

- 全てのランプが消え、運転を停止します。



- ヒーター使用時は、冷却のために数分間送風運転をしてから、停止します。冷却運転中は、**ヒーターオフ**のランプが点滅し、冷却運転が終了すると消灯します。



**注意** ●ヒーターオフのランプ点滅中は、電源コードを抜かないでください。

- 長期間使用しないときは、水タンクと本体内部の水を捨ててください。
- 次に**電源 切/入**ボタンを入れて運転を開始するときは、前と同じ動作（運転モード）で運転します。ただし、電源コードをコンセントから抜くと設定はリセットされ、次は初期運転として**おまかせ**モードで加湿が開始されます。

## ■ 切タイマー

- **切タイマー**ボタンを押すたびに、次のように時間が切り替わり、切タイマーがスタートします。



HVH-700R1 [ 2(時間) → 4 → 6 ]  
消灯(タイマー解除)

HVH-500R1 [ 2(時間) → 4 → 8 ]  
消灯(タイマー解除)

- 設定した時間が経過すると、運転が停止して電源が切れます。

**注意** ●ヒーター使用時は、冷却のために数分間送風運転をしてから、停止します。冷却運転中（ヒーターオフのランプ点滅中）は、電源コードを抜かないでください。

## ■ 給水ランプが点滅したら

- 使用中に水タンク内の水が無くなると、アラーム「ピー♪」が5回鳴り、**給水**ランプが点滅して、運転を停止します。

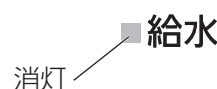
※**おやすみ**モードで運転しているときは、**給水**ランプが点滅してもアラームは鳴りません。



## 運転を再開するには

### 水タンクに水道水を入れて、本体にセットする

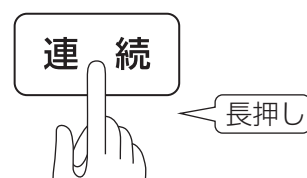
- 給水ランプが消灯し、再び部屋の湿度を測定して、給水前と同じ動作（運転モード）で加湿を再開します。
- 切タイマー動作中は、停止した残り時間から切タイマーを再開します。



- 給水のしかたは、「準備」(→P9)をご覧ください。

## ■ ランプの明るさ調節

- **連続**ボタンを長押しすると、操作パネルのランプを減光し、表示部を消灯させることができます。お休みのときなど、まぶしく感じる場合に使用してください。



- 再度**連続**ボタンを長押しすると、ランプは元の明るさに戻ります。

# お手入れ

- シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

## ■水タンク 毎日

水タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗います

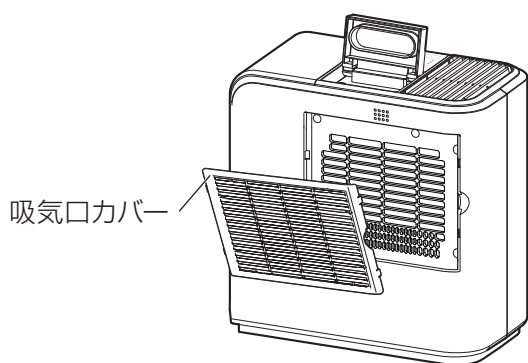
- ※汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないように、しっかりすすいでください。



## ■吸気口・吸気口カバー

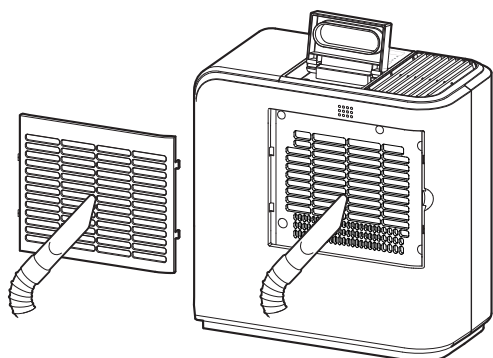
1週間に1回程度

### 1 本体から吸気口カバーを外す



### 2 吸気口カバーと吸気口のごみを掃除機などで吸い取る

- ・吸気口カバーは外側からごみを吸い取ってください。
- ※エアフィルターを破損しないように注意してください。(エアフィルターは、吸気口カバーから外れません。)



## ■加湿気化フィルター・トレー お手入れランプが点灯したとき

点灯  
■お手入れ  
リセット  
(長押し)



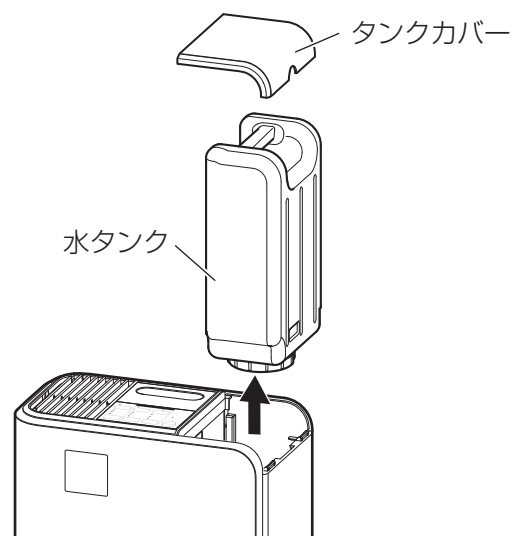
注意

- 加湿器内部をお手入れするときは、電源を切り、電源コードを抜いてから行ってください。

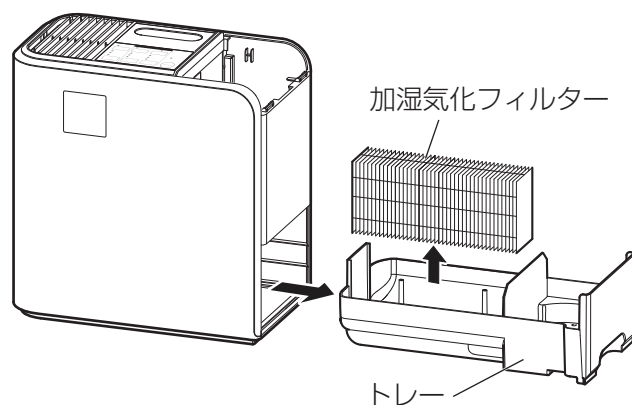
加湿気化フィルターやトレーには水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。

お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、雑菌やかびが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量が低下したり、送風音が大きくなる原因になりますので必ずお手入れしてください。

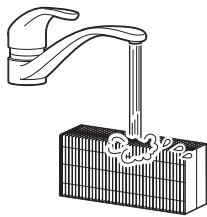
### 1 タンクカバーを開け、水タンクを取り出す



### 2 トレーを本体から引き出し、加湿気化フィルターを取り外す



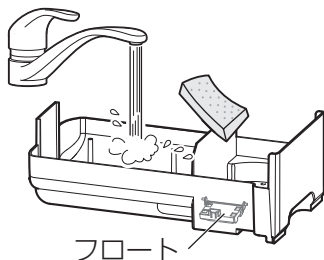
### 3 加湿気化フィルターを流水ですすぎ洗います



- 水洗い後、柔らかい布で汚れをふいてください。
- ※ 強い力を加えると破損するおそれがあります。
- ※ 吹き出す風がおうときは、台所用合成洗剤を使用して洗浄してください。(→P14)
- ※ お手入れの2回に1回(1か月に1回程度)はクエン酸で洗浄してください。(→P14)

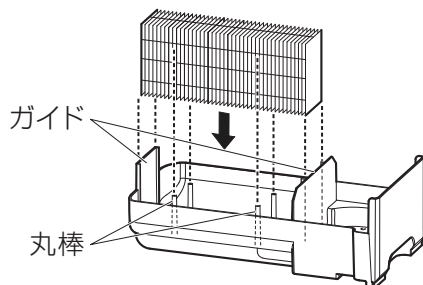
### 4 トレーの水を捨て、トレーをスポンジなどで水洗いする

- フロートまわりは、細めのめん棒などで汚れを落としてください。
- ※ フロートは外さないでください。
- ※ フロートまわりに汚れがたまると、給水ランプが誤動作するおそれがあります。

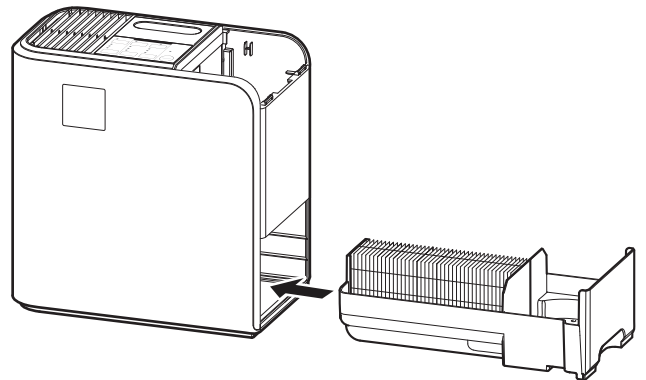


### 5 加湿気化フィルターをトレーにセットする

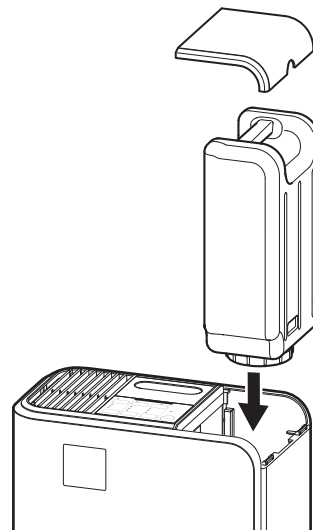
- 加湿気化フィルターは、トレーの4本の丸棒と両側のガイドの間に収まるように入れてください。



### 6 トレーを本体にセットする

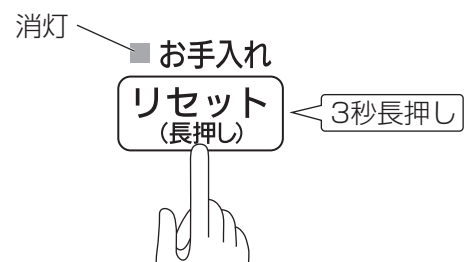


### 7 タンクを本体にセットし、タンクカバーを閉める



### 8 お手入れランプをリセットする

- 電源プラグをコンセントに接続し、電源切/入ボタンを押して電源を入れた後、リセットボタンを3秒間長押ししてください。お手入れランプが消灯します。



## ■加湿気化フィルターの洗浄

- クエン酸と台所用合成洗剤を一緒に入れないでください。
- 40℃以上のお湯は使用しないでください。部品破損の原因になります。

※クエン酸や洗剤の成分が残ると、においの発生や故障の原因になります。  
※加湿気化フィルターを外したまま機器を使用しないでください。

### 定期的に水あかを取るとき

#### 1 ぬるま湯にクエン酸を溶かし、加湿気化フィルターをつける

使用量：ぬるま湯3Lあたり、クエン酸約20g（大さじ2杯）※1

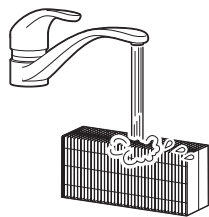
浸け置き時間：約30分～2時間※2

※1 濃度が高いと部品破損の原因になります。

※2 水あかが取れにくいときは、浸け置き時間を長く（最長2時間）してください。



#### 2 新しい水でしっかりすすぎ洗いのする



### 吹き出す風がおったとき

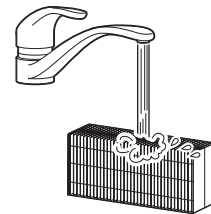
#### 1 ぬるま湯に粉末の台所用合成洗剤（花王ワイドマジックリン®など※3）、加湿気化フィルターをつける

使用量：ぬるま湯3Lあたり、洗剤約27g（大さじ3杯）  
浸け置き時間：約60分

※3 ワイドマジックリン®は、花王株式会社の登録商標です。



#### 2 新しい水でしっかりすすぎ洗いのする



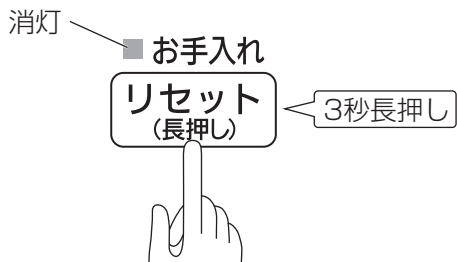
## ■ 収納のしかた

### 1 お手入れして、水タンク・本体に残った水は排水する

- お手入れ (→P12 ~ 14) を参照して、お手入れしてください。

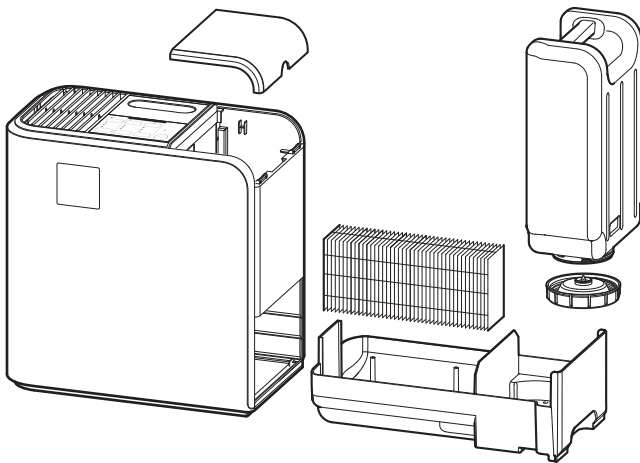
### 2 お手入れランプが点灯しているときは、リセットする

- リセットボタンを3秒長押ししてください。



### 3 電源コードを抜き、お手入れした部品、本体の内側などをよく乾かす

- 水分が残っていると、かびなどの原因になります。



### 4 梱包箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせて、湿気の少ない場所で保管する

## 加湿気化フィルター (EHH-F2310)

- お手入れしても水あかが落ちなくなったり、吹き出す風のおいがとれなくなったりしたときは、加湿気化フィルターの交換時期です。

およそ5年を目安に新しいものと交換してください。

- ※ 使用頻度や水質などによって交換時期は変わります。水あかやにおいの発生状況を確認してください。



- 交換用の加湿気化フィルターについては、お買い上げの販売店、またはアイリスコールへお問い合わせください。

- ※ 古い加湿気化フィルターは、自治体の取り決めにしたがって廃棄してください。

# 故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	考えられる理由	処置
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
加湿されない	●転倒時安全機能が働いている	●水平で平らな床の上に設置してください。
	●吸気口・吸気口カバーが目づまりしている	●吸気口・吸気口カバーを掃除してください。(→P12)
風が弱い	●自動モードで加湿中に、部屋の湿度が設定湿度を超えている	●湿度コントロール機能が働いています。異常ではありません。
給水ランプが点滅する (アラームが鳴る)	●水タンクが空になった	●水タンクに給水してください。
	●本体が傾いて、水タンクの水が片寄った	●水平で安定した場所に設置してください。
	●トレイが確実に本体に入っていない	●トレイを確実に本体に入れてください。
	●フロートが引っかかっている	●フロートまわりのゴミを取り除いてください。
運転中のモードランプが点滅する (アラームが鳴る)	●本体が傾いている ●本体が転倒している	●水平で安定した場所に設置してください。
連続のモードランプがすべて点滅する (アラームが鳴る)	●ヒーターの温度が上がりすぎている	●電源を切り、十分に温度が下がってから使用してください。
E○が表示される	●内部が故障している	●ただちに電源を切り、電源プラグを抜いて、使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへご連絡ください。
風が出ているのに加湿しない	●加湿気化フィルターに水あかやごみが付着している	●加湿気化フィルターのお手入れをしてください。(→P14)
運転切替ができない	●水タンクが空になった	●水タンクに給水してください。
切タイマーが動作しない	●水タンクが空になった	●水タンクに給水してください。切タイマーは停止した残り時間から再開します。



状 態	考えられる理由	処 置
表示部が点滅している	●室温が本機の動作範囲を超えている	●室温5～35℃で使用してください。
電源を切ったのに風が出ている	●電源を切ってもヒーターを冷やすために数分間はファンが自動運転する	●異常ではありません。ファンが停止するまでコンセントは抜かないでください。
風が冷たい	●水が気化するとき熱が奪われるので、風は室温より低くなる	●異常ではありません。
湯気や霧が見えない	●本製品は風で水を蒸発させる方式のため、湯気や霧はほとんど発生しません。	●異常ではありません。
湿度が上がらない	●部屋が適用床面積より広すぎる	●適用床面積で使用してください。
	●窓や戸が開いている	●窓や戸を閉めて使用してください。
においがする	●本体内部や吸気口・吸気口カバーが汚れている	●本体内部及び吸気口・吸気口カバーを掃除してください。(→P12)
	●水が古くなっている	●水タンクを洗い、新しい水を入れてください。
	●加湿気化フィルターが汚れている	●加湿気化フィルターのお手入れをしてください。(→P14)

### それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



**警告**

●自分で分解・修理・改造しないでください。

# 仕様

品番		HVH-700R1	HVH-500R1
定格電圧		AC100V	
定格周波数		50 / 60 Hz	50 / 60 Hz
定格消費電力		319 / 325 W	266 / 266 W
適用床面積	木造和室	12畳	8.5畳
	プレハブ洋室	19畳	14畳
加湿量（ターボモード時）※1		約700mL / h	約500mL / h
連続加湿時間（ターボモード時）※2		約7.1時間	約10時間
タンク容量		約5L	
動作温度		5 ~ 35 °C	
寸法		幅375×奥行208×高さ376 mm	
質量（水を含まず）		約5.4kg	
電源コード長		約1.5m	

※1 室温20℃、湿度30%の条件下での値です。室内の温度や湿度によって、加湿量は異なります。

※2 室温20℃、湿度30%の条件下で、連続加湿したときの値です。

※ 適用床面積は保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

## ■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

## ■保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

## ■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。


## ■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

<b>長年ご使用の加湿器の点検を！</b>	
<b>愛情点検</b> 	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする</li><li>●本体に触れるとピリピリ電気を感じる</li><li>●水もれする</li><li>●運転中に異常な音がする</li><li>●電源コードが傷ついている</li><li>●その他の異常や故障がある</li></ul> <p style="text-align: right;"><b>ご使用中止</b></p> <p>故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。</p>

# 気化ハイブリッド加湿器 HVH-700R1 / HVH-500R1

## 保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間	
年 月 日				ただし、消耗品を除く	
お客様	お名前		※ 販売店	住所・店名	
	ご住所 〒				
電話 ( ) -				電話 ( ) -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

### 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
  - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
  - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
  - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
  - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
  - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
  - 本書の提示がない場合
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

## アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

### お客様サポート

24時間365日  
Web即時回答サービス



### 専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ  
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ **アイリスコール 0120-311-564** (通話料無料) / 修理に関するお問い合わせ **修理専用コール 0800-170-7070** (通話料無料)  
【お電話での受付時間】 平日 9:00～17:00、土日祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)